



## 平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルチザネットワークス  
コード番号 6778 URL <http://www.artiza.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 床次 隆志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 政人

TEL 042-529-3494

四半期報告書提出予定日 平成24年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	740	51.7	△26	—	△3	—	△4	—
23年7月期第2四半期	487	—	△163	—	△148	—	△273	—

(注) 包括利益 24年7月期第2四半期 △30百万円 (—%) 23年7月期第2四半期 △269百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第2四半期	△50.16	—
23年7月期第2四半期	△3,405.61	—

(注) 平成23年7月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年7月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第2四半期	3,276	3,139	95.8
23年7月期	3,401	3,169	93.2

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 3,139百万円 23年7月期 3,169百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
24年7月期	—	0.00	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	58.8	13	—	30	—	25	—	319.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年7月期2Q	95,620 株	23年7月期	95,620 株
② 期末自己株式数	24年7月期2Q	15,193 株	23年7月期	15,193 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年7月期2Q	80,427 株	23年7月期2Q	80,427 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は、3ページをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(7) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

移動体通信分野では、大手通信事業者による次世代携帯電話の世界共通方式となるLTE (Long Term Evolution) の商用サービスが開始され、世界各国の主要な通信事業者や通信機器ベンダーが商用サービス開始に向けての開発投資を本格化しつつあります。スマートフォン等多種多様な携帯電話端末の普及により、通信速度及び大容量化へのニーズが高まっている一方で、通信品質の問題や加入者獲得競争、WiMAX等の新技術によるサービスの展開等により、通信事業者各社の競合状況は今後も一層の激化が予想されます。

また、固定通信分野におきましても光ファイバを中心としたブロードバンドサービスが進展し、IP化に伴うサービスの融合化が加速しております。

これらの新技術、新サービスの導入に伴い積極的な研究開発投資が見込まれる一方で、サービスの低価格傾向は定着しており、通信各社の研究開発及び設備投資は選別的な姿勢が継続されるものと予想され、長期化する円高や欧州の金融不安など景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) LTEに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTEに対応する商材開拓及び販売
- (iii) 中国、韓国、欧州、インド、北米等の海外市場におけるLTE対応製品の市場開拓及び販売
- (iv) WiMAXに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (v) 第3世代移動体通信対応製品の販売
- (vi) 次世代ネットワーク (NGN: Next Generation Network) に対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vii) 通信分野における新事業に向けたマーケティング及び研究開発

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「モバイルネットワークテスト」を「モバイルネットワークソリューション」、「IPネットワークテスト」を「IPネットワークソリューション」と名称変更いたします。セグメントの変更は名称のみでありますので、セグメント区分を変更したものではありません。

(モバイルネットワークソリューション) 620,917千円 (前年同期比36.8%増)

当セグメントの売上高は、620,917千円となりました。LTEに対応した製品の国内及び海外への販売、第3世代対応製品、WiMAXに対応した製品の販売によるものです。

(IPネットワークソリューション) 119,486千円 (前年同期比250.8%増)

当セグメントの売上高は、119,486千円となりました。VoIP市場向けの製品、イーサネットサービス向けのフィールドテスト用途の「サービステスタ」、NGNに対応するプロトコルテストの売上によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高740,403千円 (前年同期比51.7%増)、営業損失26,650千円 (前年同期は163,551千円の営業損失)、経常損失3,492千円 (前年同期は148,319千円の経常損失) となり、四半期純損失4,033千円 (前年同期は273,903千円の四半期純損失) となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は2,851,742千円であり、前連結会計年度末に比べ、59,656千円減少いたしました。現金及び預金が188,108千円増加したものの、売掛金が137,233千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、424,596千円であり、前連結会計年度末に比べ、65,825千円減少いたしました。投資その他の資産48,992千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は119,774千円となりました。前連結会計年度末に比べ、101,030千円減少いたしました。買掛金が88千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,139,410千円であり、前連結会計年度末に比べ、30,427千円減少いたしました。その他有価証券評価差額金を50,965千円計上したことが主な要因であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は営業活動による収入156,852千円、投資活動による収入32,563千円、財務活動による支出625千円により、資金残高は1,968,129千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失3,492千円に対し、減価償却費28,601千円、売上債権の減少額137,233千円、たな卸資産の減少額106,770千円があり、仕入債務の減少額88,355千円があった結果、営業活動によって増加した資金は156,852千円（前年同期は21,490千円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

保険積立金の解約による収入が26,100千円あり、その結果、投資活動によって増加した資金は32,563千円（前年同期は30,374千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

リース債務の返済による支出が382千円あり、その結果、財務活動によって使用した資金は625千円（前年同期は248千円の支出）となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期の通期連結業績予想は、平成23年9月1日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、前連結会計年度において、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。これにより、将来にわたって事業活動を継続するとの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。当該重要事象を解消するため、前連結会計年度に引き続き収益構造の改善、販売管理費の削減、研究開発テーマの絞込み等を実施し業績の改善を図ってまいります。資金につきましても、当第2四半期連結会計年度末時点での現金及び預金の残高は、1,968,129千円であり、財務面に支障はないものと考えております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載には至りませんでした。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,780,021	1,968,129
売掛金	391,960	254,727
商品及び製品	446,959	440,087
仕掛品	12,891	13,844
原材料及び貯蔵品	243,761	137,793
その他	35,804	37,160
流動資産合計	2,911,398	2,851,742
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,197	11,143
工具、器具及び備品（純額）	87,398	76,762
有形固定資産合計	99,596	87,906
無形固定資産	23,541	18,397
投資その他の資産	367,284	318,292
固定資産合計	490,422	424,596
資産合計	3,401,820	3,276,338
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	141,689	53,334
未払法人税等	793	1,743
賞与引当金	19,262	18,077
その他	59,059	46,619
流動負債合計	220,804	119,774
固定負債		
資産除去債務	8,102	11,256
その他	3,075	5,897
固定負債合計	11,177	17,153
負債合計	231,982	136,928
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,500,547	1,500,547
利益剰余金	849,930	845,897
自己株式	△515,124	△515,124
株主資本合計	3,194,704	3,190,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,855	△50,965
為替換算調整勘定	△10	△294
その他の包括利益累計額合計	△24,865	△51,259
純資産合計	3,169,838	3,139,410
負債純資産合計	3,401,820	3,276,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
売上高	487,921	740,403
売上原価	278,826	492,064
売上総利益	209,094	248,339
販売費及び一般管理費	372,646	274,989
営業損失(△)	△163,551	△26,650
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,168	13,424
保険解約返戻金	832	11,462
その他	750	818
営業外収益合計	17,752	25,705
営業外費用		
支払利息	—	31
為替差損	2,520	2,516
営業外費用合計	2,520	2,547
経常損失(△)	△148,319	△3,492
税金等調整前四半期純損失(△)	△148,319	△3,492
法人税、住民税及び事業税	1,150	1,150
法人税等調整額	124,433	△608
法人税等合計	125,583	541
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△273,903	△4,033
四半期純損失(△)	△273,903	△4,033

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△273,903	△4,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,127	△26,110
為替換算調整勘定	△473	△283
その他の包括利益合計	4,653	△26,394
四半期包括利益	△269,249	△30,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△269,249	△30,427
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△148,319	△3,492
減価償却費	44,745	28,601
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13	△1,185
受取利息及び受取配当金	△16,168	△13,424
支払利息	—	31
売上債権の増減額(△は増加)	603,345	137,233
たな卸資産の増減額(△は増加)	△434,237	106,770
仕入債務の増減額(△は減少)	31,043	△88,355
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,922	8,604
未収消費税等の増減額(△は増加)	△18,269	—
その他	△44,518	△30,025
小計	4,684	144,758
利息及び配当金の受取額	16,071	13,054
利息の支払額	—	△31
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	734	△928
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,490	156,852
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,121	△1,805
無形固定資産の取得による支出	△9,156	—
保険積立金の解約による収入	1,883	26,100
その他	△1,980	8,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,374	32,563
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	—	△382
配当金の支払額	△248	△243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248	△625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△282	△682
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,415	188,108
現金及び現金同等物の期首残高	2,136,952	1,780,021
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,127,537	1,968,129

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	453,862	34,059	487,921
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	453,862	34,059	487,921
セグメント損失(△)	△152,188	△11,362	△163,551

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	モバイル ネットワーク ソリューション	I P ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	620,917	119,486	740,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	620,917	119,486	740,403
セグメント利益又は損失(△)	△61,223	34,573	△26,650

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 第1四半期連結累計期間より、「モバイルネットワークテスト」を「モバイルネットワークソリューション」、「IPネットワークテスト」を「IPネットワークソリューション」と名称変更いたします。セグメントの変更は名称のみでありますので、セグメント区分を変更したものではありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。